

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2 年 3 月 30 日

事業所名 はくはぐ子ども村西都

保護者等数(児童数) 12 回収数 12 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					活動のスペースと園庭の広さは十分である。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1		2		常に適切である。専門性もある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1		2		女子トイレに車いすでも利用できるようにしてある。また絵や写真カードを使って利用者が分かりやすい環境を取っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	2				常に清潔を保ち、子ども達が過ごしやすいように環境を整えている。冬は消毒を準備し感染予防に努めている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12					毎日ミーティングをし、職員全員と毎月ケース会議を持ち、状態を把握し共通理解している。そして児発管が支援計画を作成し、計画を職員に周知している。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1		2		支援に必要な内容や項目を選択し計画されている。利用者保護者への周知を工夫していく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12					計画に沿って支援をしている。6ヶ月毎に支援計画を見直す。状況に於いては計画の途中で変更する事もある。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	8	2		2		個々の特性や状態、変化に応じて柔軟に対応している。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	1	1	2		保育所、認定こども園等との並行利用のため利用者の所属園で交流はある。また、年2回のイベントには利用者以外の参加もあるので機会は少ないが交流はある。
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1				契約時に分かりやすく説明をしている。また運営規定等は玄関先に張り出している。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12					利用者の日頃の様子も話して、身近に感じてくれるように、分かりやすく説明している。工夫をして行く。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	11	1				母子通園等の懇談にて家族支援プログラムに沿った話し合いが出来ている。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	3			メールはなかなかできないので週1回でも連絡帳など作成してほしい。	メールや電話等でやりとりをしている。利用時間内は連絡帳等を書く時間が確保できないが連絡帳でのやりとりが可能が検討する。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1				月1回の母子通園にて、利用者の様子を見てもらう機会を設けている。懇談会をして保護者には発達の状況や困りごとの相談に乗っている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	3		1		母子通園やイベントにて小さなネットワークは出来ている。事業所主体の連携の為の働きかけはしていないので改善したい。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1				相談や問い合わせには、電話や面接で対応している。相談窓口の周知強化してもっと気軽に相談できる環境を作っていく。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					メールにてのやり取りをしているが、事業所からの発信が少ないので検討したい。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	2		2		昨年ホームページにあげ自己評価の結果を記載する。毎月のお便りで活動や行事等知らせている。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	1				職員間で徹底しているが、細心の注意を払っていきたい。	

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	4	1	2	訓練実施は子どもから聞いているが緊急時は分からない。	色々な場合を設定して避難訓練はしている。緊急時の避難場所等はプリントにて周知した。保護者に対してもっと詳しい説明が必要だと思われるので改善する。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1		1		災害マニュアルを作り職員間の周知をしているが非常勤職員に対する周知が徹底してないと思われるので改善したい。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11			1		保育園等からの気持ちの切り替えが出来なかったり、新しい場所に慣れない子もいるので個々に合わせて対応し安心して通えるように心掛けている。
	23	事業所の支援に満足しているか	11	1			最近怪我が多いので心配だ。	職員全員で検討し怪我の無いように検討し対応している。また、計画に沿った支援がなされているのか、支援の方法がこれでいいのか常に検討、見直しが必要と思われる。

*1 この部屋で何をするかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。